

科目ナンバー： 研究・CNS：MC6081

授業コード： 6630600800

講義科目名称： がん治療看護介入演習Ⅱ

英文科目名称： Advanced Nursing intervention for cancer PatientⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、樺澤三奈子、横川史穂子、石岡幸恵、船越和弘、石田卓士、小木学			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	樺澤 三奈子	同上	318	minako-k@niigata-cn.ac.jp
	横川 史穂子	同上	204	yokokawa@niigata-cn.ac.jp
	石岡 幸恵	同上	301	ishioka@niigata-cn.ac.jp
	船越 和弘	新潟県立中央病院		
	石田 卓士	同上		
	小木 学	同上		
	【本学の科目区分】 専門分野			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】			
	研究			
	CNS	◎	○	○
	助産			

到達目標	既習の基礎知識・技術（フィジカルアセスメント、臨床薬理学、病態生理学、がん病態生理学と支援技術）を活用し、がん患者を受け持ち、ヘルスアセスメントを行うとともに、臨床判断と治療看護介入など必要な内容を総合的に判断し、ケアとキュアを融合した治療・介入計画の立案ができる。
------	---

授業概要	病院における演習を通してがん患者のヘルスアセスメントを習得し、がん薬物療法や緩和診療に参加し、有害事象や苦痛の把握、治療継続の判断、有害事象や苦痛の緩和に向けた治療計画の立案、実施、評価といった一連の臨床診断過程を学ぶ。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん患者のアセスメント：演習① 学修内容：・がん患者のヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田（卓） 小木 石田（和）</p> <p>2 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん患者のアセスメント：演習② 学修内容：・がん患者のヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田（卓） 小木 石田（和）</p> <p>3 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん患者のアセスメント：演習③ 学修内容：・がん患者のヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田（卓） 小木 石田（和）</p> <p>4 授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん患者のアセスメント：演習④ 学修内容：・がん患者のヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田（卓） 小木 石田（和）</p> <p>5 授業内容 授業形態：演習</p>
------	---

6	<p>学修課題：がん患者のアセスメント：演習⑤ 学修内容：・がん患者のヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田(卓) 小木 石田(和)</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん患者のアセスメント：演習⑥ 学修内容：・がん患者のヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田(卓) 小木 石田(和)</p>
7	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：がん患者のアセスメント 学修内容：がん患者のアセスメントの発表 事前学修：・演習①～⑥をもとに、事例のアセスメントを行い、レポートにまとめる。 事後学修：・ディスカッションを踏まえ、文献を用いて疑問点の解決を図る。 備考：石田(和)</p>
8	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：治療を受けているがん患者治療看護介入 臨床判断と治療的介入計画 演習① 学修内容：・がん薬物療法中の患者、緩和ケアを受けている患者の有害事象、苦痛の程度を把握し、治療継続の判断、有害事象や苦痛の緩和に向けた治療計画の立案・実施・評価を行う。 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田(卓) 小木 石田(和)</p>
9	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：治療を受けているがん患者治療看護介入 臨床判断と治療的介入計画 演習② 学修内容：・がん薬物療法中の患者、緩和ケアを受けている患者の有害事象、苦痛の程度を把握し、治療継続の判断、有害事象や苦痛の緩和に向けた治療計画の立案・実施・評価を行う。 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田(卓) 小木 石田(和)</p>
10	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：治療を受けているがん患者治療看護介入 臨床判断と治療的介入計画 演習③ 学修内容：・がん薬物療法中の患者、緩和ケアを受けている患者の有害事象、苦痛の程度を把握し、治療継続の判断、有害事象や苦痛の緩和に向けた治療計画の立案・実施・評価を行う。 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田(卓) 小木 石田(和)</p>
11	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：治療を受けているがん患者治療看護介入 臨床判断と治療的介入計画 演習④ 学修内容：・がん薬物療法中の患者、緩和ケアを受けている患者の有害事象、苦痛の程度を把握し、治療継続の判断、有害事象や苦痛の緩和に向けた治療計画の立案・実施・評価を行う。 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田(卓) 小木 石田(和)</p>
12	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：治療を受けているがん患者治療看護介入 臨床判断と治療的介入計画 演習⑤ 学修内容：・具体的には、以下の内容を含む。 ★がん薬物療法：悪心・嘔吐、倦怠感など ★緩和ケア：オピオイドローテーション 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田(卓) 小木 樺澤</p>
13	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：治療を受けているがん患者治療看護介入 臨床判断と治療的介入計画 演習⑥ 学修内容：・具体的には、以下の内容を含む。 ★がん薬物療法：悪心・嘔吐、倦怠感など ★緩和ケア：オピオイドローテーション 事前学修：・学修内容に関連する既修科目を復習する。 事後学修：・演習での学びについて、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：船越 石田(卓) 小木 樺澤</p>
14	<p>授業内容</p>

15	<p>授業形態：演習 学修課題：演習成果の発表と評価 学修内容：臨床判断と治療的介入計画に関するディスカッション 事前学修：・「がん患者の臨床判断・治療的介入計画」をテーマに、 下記4点を踏まえてレポートをまとめる。 ①事例の概要 ②アセスメント（診療内容とその解釈・分析、健康上の問題点） ③治療的介入計画の立案および医師による評価 ④診断と治療的介入計画立案のプロセスを通して学んだこと 事後学修：・ディスカッションをもとに、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：石田（和） 樺澤 横川 石岡</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：課題と支援の探求 学修内容：「がん看護専門看護師としての支援と課題」発表 事前学修：・介入演習Ⅰ・Ⅱでの学びに基づき、がん看護専門看護師に 求められる支援と今後の課題」についてレポートにまとめる。 事後学修：・ディスカッションをもとに、文献を活用して疑問の解決を図る。 備考：石田（和） 樺澤 横川 石岡</p>
事前・事後学習	授業計画参照
評価方法、評価基準	到達目標に対して、レポート 50%、プレゼンテーション 30%、課題分析能力 20%により総合的に評価する。
テキスト	最新の文献を使用するため、現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	必要時提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	詳細については演習要項を参照する。 まとめでは、指定課題についてプレゼンテーション資料を作成し、人数分の資料をコピーして配布する。
教員からのメッセージ	主体的な自己学修を期待する。
オフィスアワー	石田、樺澤、横川、石岡が窓口となり対応する。事前にメールで連絡する。